バグダッド日 誌 (5月25日)

O 国旗掲揚塔について(パーh2)

ため新しい大きな国旗を掲げるために、十分な長さのあるが、ルはないかと捜し、廃材をかき集めて作成した。以下苦労した作業風景を紹介したい。

(決して暇なわけではなく、またいつも土木作業をしているわけではないのですが...。)

O 揭揚塔作成奮闘記

■、仕事は夜でもできるでしょう!!手伝ってくださいよ!!」...それは突如として始まった!思い立ったらすぐ にでも行動しなければ気が済まない悪い癖である。排水溝作成作業や部屋の大掃除など今までに幾度となく を困らせた奇襲行動である。日本では教育基本法問題が話題を集めている昨今、日本を代表して勤務するパグダッ ド連絡班の象徴たる国旗の状況を憂い、誇り高き自衛官を志す私の愛国心に火がついたのである。問題点の対処策 はただ一つ、掲揚塔を作成することだ! 行動方針にO-2はなし!

たずは原材運搬。恥ずかしがる (1982年) を脱骨し、アメリカ人の注目を浴びつつ公道を手搬送する。その後、廃村に合う金具を収集。この時点で脱水症状気味になり、腕はパンパンになる。

廃材の金具は錆び付いていてネジが外れない。失礼は省みず夜勤明けの3等海佐にペンチで押さえて貰い、金鋸 で切断。2人して両手の握力をなくす。

パグダッド特有の乾燥してコンクリートのように堅くなった粘土質の地面を掘削、交代でひたすら掘り続ける。大量の

ハクタット特有の乾燥してコングリートのように整くように粘土質の地面を照例、またせいにする面が続ける 下は休憩した途端に乾燥して塩を吹く。ペットボトル1人7本消費。 いよいよ建立!「曲がってる!」「砂利詰めろ!」「土嚢で押さえろ!」…なんとか立ち上げる。「レンジャー 素はやらせろ!」と出しゃばり、四苦八苦しながら固定する。 「班長終わりました。朝飯前ですよ」と昼食を抜いての作業に終了を告げる。 施設科隊員45歳:エンピを持って張り切り軽い腰痛

海上自衛官38歳;炎天下の作業で軽い熱疲労

衛生科隊員32歳:肌を保護することなく顔面に軽い熱傷

